

## 放課後子どもサポートプログラム「まっく」

### ■アイスづくり（厚賀）

9月20日、まっく（厚賀）の「アイスづくり」を厚賀コミュニティセンターで開催し、22名の参加者が集まりました。

氷に塩を入れると温度が急激に下がる現象を利用してアイスを作る教室で、参加者はアイスを固めるために一生懸命袋を振り、参加者全員が2個ずつ完成させることができました。

当日は少し肌寒い気温となりましたが、参加者は自分で作ったアイスを楽しそうに食べ、中には「売っているアイスよりおいしい。」という参加者もいて満足した様子でした。



### ■コーディネーショントレーニング（全地区）

10月2日、3日の2日間、まっく（全地区）のスポーツ教室第3種目として「コーディネーショントレーニング」を門別総合町民センター（スポーツセンター）で開催し、町内の小学1年生から3年生までの延べ160人が元気いっぱいに参加しました。

コーディネーショントレーニングではじゃんけん運動、ボール運度、フラフープ運動、鬼ごっこ運動の4種目を行い、どの種目も元気に笑顔が溢れ、にぎやかな楽しいトレーニングとなりました。終了後も「もっとやりたい。」という声もあり、充実した教室になりました。



### ■プラ板キーホルダーづくり（門別）

10月6日、まっく（門別）の「プラ板キーホルダーづくり」を門別公民館で開催し、30名の参加者が集まりました。

プラ板をオープンで熱することで縮んで固くなる性質を利用しキーホルダーとバッジを作る教室で、参加者は思い思いの絵や文字をプラ板に描き、オープンの中でプラ板が縮んでいく様子を観察していました。参加者からは「すごい！」「まだ作りたい！」などの声があがっており、とても楽しんでいました。



## ■アート教室（富川）

10月25日から27日の3日間、まっく（富川）の「アート教室」を新光町生活館で開催し、59名の参加者が集まりました。

町内在住の画家「千代 明」氏を講師に招き、自然の素材を使ったアートを教えていただきました。先日厚賀で開催した際と同様、石ころ、砂、流木や貝殻などをテーマを設けずに思い思いにダンボールに貼り付けていくという教室でした。

当日はあらかじめ集めておいた素材の中から好きな素材を選び、動物や人の絵や中には立体的に素材をつける参加者もあり、素晴らしい作品を完成させていました。



## 沙流川大学第6回講座「芸術鑑賞～人形浄瑠璃文楽公演～」

10月11日、札幌市教育文化会館で、沙流川大学第6回講座「芸術鑑賞～人形浄瑠璃文楽公演鑑賞～」を14名の参加により開催し、教養の向上と参加者間の交流を図ることができました。

開演前には、女性の文楽人形と間近で記念撮影をし、まるで生きているかの様に女性らしい繊細な人形の動きに参加者は驚いていました。

開演冒頭では、文楽についての分かりやすい説明があり、舞台横には電光表示板による字幕も用意されていたため、義太夫節独特の節回しにセリフが聞き取れなくても参加者全員が十分に鑑賞を楽しむことができました。

鑑賞中の参加者は、物語を語る「太夫」、情景を音で表現する「三味線」、一体の人形を三人で遣う「人形」の三業が一つとなった精根込めた熱演に、終始舞台に魅了され、心情に迫る巧みな演出に会場全体が感動で一体となり拍手喝采で舞台は締め括られ、満ち足りた時間を過ごしました。



## ひだか文化講座「書道教室」が終了しました

本年度のひだか文化講座「書道教室」は小西洋子氏を講師に迎え、受講者11名により6月から開催してきました。

10月に開催された日高地区文化祭には様々な書体の作品を出展し、4か月間の成果を披露して今年度の教室を終了しました。

参加された皆さんが一生懸命に取り組んでいたことが良くわかる、大変素晴らしい作品に仕上がっております。

